

氏 名	小原 勝（おはら まさる） 教授
担当科目	[教養科目] 教養・キャリア基礎演習Ⅰ、Ⅱ [専門科目] 衛生公衆衛生学、解剖学、口腔解剖学Ⅰ、Ⅱ、口腔外科学、摂食嚥下リハビリテーション学、歯科総合演習Ⅰ、Ⅱ、卒業研究
研究分野	細菌学、口腔総合診療学、口腔外科学
学位	博士（歯学）
主な 教育研究 業績	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なエンドの三角除去用ドリルの開発. 小原勝, 二川浩樹, 大林泰二, 西裕美, 菊重奈美, 大戸敬之, 小川哲次. 日本総合歯科学会雑誌 : 6:、46-52、共著、2014 年 ・Delivery and application of dietary polyphenols to target organs, tissue and intracellular organelles (食事含有ポリフェノールの標的臓器、組織、細胞内小器官への移行と効果) . Ohara M, Ohyama Y. Curr Drug Metab : 115:、37-47、共著、2014 年 ・臨床研修の中間点における研修歯科医の振り返りの様相についての検討. 大林泰二, 大戸敬之, 長谷由紀子, 梶谷佳世, 田中良治, 西裕美, 小原勝, 小川哲次. 広大歯誌 : 46:、1-5、共著、2014 年 ・Inhibition of RANKL-dependent cellular fusion in pre-osteoclasts by amiloride and NHE10-specific monoclonal antibody (アミロライドと NHE10 単抗体による RANKL 依存性前破骨細胞の細胞融合阻止) . Mine Y, Shuto T, Nikawa H, Kawai T, Ohara M, Kawahara K, Ohta K, Kukita T, Terada Y, Makihiro S. Cell Biol Int : 39:、696-709、共著、2015 年 ・Fluoresceination of <i>Lactobacillus rhamnosus</i> through the expression of green fluorescent protein. (GFP によるラムノーザス乳酸菌の蛍光化). Mimura S, Ohara M, Hayashi I, Okada M, Nikawa H. IJRES : 4:、76-85、共著、2016 年 ・ペットボトルの回し飲みで付着した齲蝕原因菌の生存期間に関する研究 -齲蝕原因菌の市中感染伝播解析-. 岡崎葉菜, 小原勝, 西村瑠美, 深田恵里, 原久美子, 岡田貢, 天野秀昭. 広大歯誌 : 48:、20-26、共著、2016 年 ・軟骨魚類ゲノム情報をもちいたヒト歯牙発生関連遺伝子との バイオインフォマティクス解析. 小原勝, 大林泰二, 西裕美, 小川哲次, 河口浩之, 二川浩樹. 広大歯誌, : 49 :、1-6、共著、2017 年 ・Removal of mutans Streptococci from saliva to establish non-cariogenic oral flora. -A first step on exploring a new method using flow cytometry and cell sorting (う蝕罹患しない口腔細菌叢を確立するため唾液からミュータンス連鎖球菌除去-フローサイトメトリーを用いた新規方法-) . Ohara M, Hayashi I, Oda Y, Furutani C, Obayashi T, Nishi H, Kawaguchi H. IJRES : 5:、41-54、共著、2017 年 ・CdtC-induced processing of membrane-bound CdtA is a crucial step in <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> Cytotoxic Distending Toxin Holotoxin Formation. (CdtC 誘導膜結合型 CdtA の修飾がアグレガチバクテリアアクチノミセテムコミタンス CDT ホロ毒素形成に重要である) . Tsuruda K, Matangkasombut O, Ohara M, Sugai M. Infect Immun : 86 :、e00731-17、共著、2018 年

所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本総合診療学会 (2008 年加入 ; 認定医 2016 年～) ・ 日本口腔科学会 (2012 年加入) ・ 日本歯周病学会 (2004 年加入) ・ 日本細菌学会 (2000 年加入 : I C D 認定医 2009 年～) ・ 分子生物学会 (2000 年加入) ・ 米国細菌学会 [A S M] (2018 年加入) ・ 日本歯科教育学会 (2008 年加入)
社会的 活動 業績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県東広島市 1.6 歳児歯科検診従事 (H22 年 4 月～H28 年 3 月) ・ カンボジア歯科検診ボランティア参加 (3 月第 1 週) [3 回] (H26 年、27 年、28 年) ・ 米国州立 University of Florida フロリダ大学客員研究員 (H29 年 10 月～H30 年 10 月)
その他	